

関西アマチュア無線フェスティバルでは、下記の要綱で「KANHAMコンテスト」を開催します。

当日は、All Asian DX コンテスト電信部門に重なるため HF 帯につきましては、フォーンのみといたします。

## 第2回(2011) KANHAMコンテスト規約

### 1. 開催日時

2011年6月19日(日) 06:00 ~ 18:00 (JST)

### 2. 参加資格

日本国内のアマチュア局および SWL (アマチュア局の電波を受信する個人をいう)

### 3. 使用周波数帯

3.5 ~ 1200 MHz (WARC バンドを除く)

JARL 制定の「コンテスト使用周波数帯」、1200 MHz 帯は総務省告示「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」による。

ただし、電信部門 は、50 ~ 1200 MHz とする。

アマチュアバンド	使用周波数帯	
電 信 電 話		
3.5MHz 帯	【AM/SSB】 3.530~3.565MHz	
7MHz 帯	【AM/SSB】 7.060~7.140MHz	
14MHz 帯	【AM/SSB】 14.250~14.300MHz	
21MHz 帯	【AM/SSB】 21.350~21.450MHz	
28MHz 帯	【AM/SSB】 28.600~28.850MHz	
	【FM】 29.200~29.300MHz	
50MHz 帯	【CW】 50.050~ 50.090MHz	【AM/SSB】 50.250~51.000MHz
	【FM】 51.000~52.000MHz	
144MHz 帯	【CW】 144.050~ 144.090MHz	【AM/SSB】 144.250~144.500MHz
	【FM】 144.750~145.600MHz	
430MHz 帯	【CW】 430.050~ 430.090MHz	【AM/SSB】 430.250~430.700MHz
	【FM】 432.100~434.000MHz	

### 4. 参加部門および種目

種 目                      コードナンバー

シングルOP

(電話) 3.5MHz バンド    S-PH-3.5

7MHz バンド            S-PH-7

14 MHz バンド	S-PH-14
21MHz バンド	S-PH-21
28MHz バンド	S-PH-28
50MHz バンド	S-PH-50
144MHz バンド	S-PH-144
430MHz バンド	S-PH-430
1200MHz バンド	S-PH-1200
オールバンド	S-PH-ALL
ハンディー機部門 (注 1)	S-PH-HT
オールバンド平成生まれ (注 2)	S-PH-JR
オールバンドシルバー (注 3)	S-PH-SI

#### シングルOP

(電信電話) 50MHz バンド	S-CWPH-50
144MHz バンド	S-CWPH-144
430MHz バンド	S-CWPH-430
1200MHz バンド	S-CWPH-1200
50~1200MHz バンド	S-PHCW-VU
マルチオペ オールバンド	M-MIX-ALL
オールバンド平成生まれ	M-MIX-JR
SWL オールバンド	SWL

(注 1)

- ①144MHz、430MHz、及び 1200MHz 帯の FMハンディー機を使用すること。
- ②電源は本体に内蔵出来る乾電池、または Ni-cd 等のバッテリーを使用すること。外部電源は不可とするが、本体と一体構造であれば大容量のものやハイパワーの電池ケースを使用可。さらに、コンテスト期間中の乾電池交換も可。
- ③アンテナはハンディー機に付属しているアンテナ、またはそれに準じるホイップアンテナを使用すること。同軸ケーブルその他を使用した外部アンテナは不可。変換コネクタは可。
- ④使用した無線機、電源、ホイップアンテナの型式をサマリーシートの意見欄に記入のこと。

(注 2) 運用者が平成生まれの局

(注 3) 運用者がコンテスト当日満 73 歳以上

## 5. 交信方法

(1) 呼び出し

- ① 電信の場合 … CQ TEST (または CQ KH TEST)
- ② 電話の場合 … CQ コンテスト (または CQ カンナム コンテスト)

(2) コンテストナンバー交換

RST 符号による相手局のシグナルレポート

自局の運用場所を示す JARL 制定の都府県支庁ナンバー

YL, 平成生まれ, または シルバーの局 (コンテスト当日満 73 歳以上) は, 付加するコード 1 文字 (平成生まれの YL, YL でシルバーの場合は, いずれか任意の 1 文字)

6. 交信上の禁止事項

- (1) クロスバンドによる交信
- (2) コンテスト中の運用場所の変更
- (3) シングルオペの同一または異なるバンドにおける 2 波以上の電波の同時発射
- (4) マルチオペの同一バンドにおける 2 波以上の電波の同時発射
- (5) マルチオペの複数地点からの運用
- (6) レピータによる交信
- (7) マルチオペとして参加している当該局とのシングルオペとしての交信

7. 得点およびマルチプレイヤー

(1) アマチュア局

得点

前項に定めるコンテストナンバーの交換が完全に行われた交信をもって, 以下の得点とする。

一般の局 ……………1 点

特別局 8J3XVI または 8J3A ……5 点

YL 局 (都府県支庁ナンバーの後に Y) ……5 点

免許人が平成生まれの局 (同上 H) ……5 点

コンテスト当日満 73 歳以上 (同上 O オー) …… 5 点

ただし, 同一バンドにおける重複交信は, 1 交信を除き, 電波型式が異なっても得点とならない。

(1) マルチプレイヤー

完全な交信が行われた前記得点対象の相手局の運用場所を示す異なる都府県支庁。

ただし, バンドが異なれば, 同一都府県支庁であってもマルチプレイヤーとする。

(2) SWL

(a) 得点

送信および受信局の呼出符号並びに送信局のコンテストナンバーの完全な受信を1点とする。ただし、同一バンドにおける重複受信（同一局を2回以上受信することをいう。以下同じ）は、1受信を除き、電波型式が異なっても得点としない。

(b)マルチプライヤー

完全な受信を行なった相手局の運用場所を示す異なる都府県支庁。ただし、バンドが異なれば同一都府県支庁であってもマルチプライヤーとする。

## 8. 総得点の計算方法

### (1)オールバンドの場合

〔各バンドにおける得点の和〕 × 〔各バンドで得たマルチプライヤーの和〕

### (2)シングルバンドの場合

〔当該バンドにおける得点の和〕 × 〔当該バンドで得たマルチプライヤーの和〕

## 9. 書類の提出

- (1) JARL 制定の「サマリーシート」および「ログシート」（または 同形式のもの、必ず A4 判を使用すること。B5 判は不可）を使用し。必要事項を記入して提出すること。
  - (2) 電子ログの場合は、JARL 推奨の Summary Maker またはこれに準じたものを利用すること。JARL 推奨の E-LOG MAKER は、そのままではこのコンテストには使えない。
  - (3) FD などのメディアによる提出、Excel、HAMLOG などのデータを未加工（テキストデータ以外）での提出はできない。
  - (4) 書類は、種目表のうち、いずれか1種目のみに提出するものとし、もし2以上の局で参加したときは、そのいずれか1局に限る。
  - (5) 入賞対象局について、次に掲げる資料等の提出を求める場合がある。
    - ①重複する交信または受信局およびマルチプライヤーの確認資料（チェックリスト）
    - ②交信または受信時に記入したログ（オリジナルログ）
  - (6) 提出締切日 2011年6月30日（消印有効）
  - (7) 提出先 〒563-0025 池田市城南 3-6-1 田中方 KANHAMコンテスト係  
電子ログ提出先: jr3qhq@jarl.com タイトルに「KANHAMコンテスト」と入れる。
- (a)マルチオペの場合：コンテスト中に運用した者の姓名、無線従事者資格、および年齢（ジュニアのみ）を意見欄に明記すること（同欄に全部記入できない場合は、サマリーシートの裏面または別用紙に記入する）。
- ログシートには交信ごとに運用した者の名前を記入すること。2波の場合は、2系列の送信波ごとに時間順に並べること。
- (b)平成生まれ・シルバーの場合：生年月日をサマリーシート意見欄に明記すること。

## 10. 賞

賞：各種目 第1位の局に、賞状と副賞を贈る。副賞は、関西の特産品(関西6府県支部が提供)とする。

第16回関西アマチュア無線フェスティバルの関西地方本部大会で発表しその場で特産品などを渡す。